

### 日本紅斑熱

日本紅斑熱は、2010年～2013年は7月～8月に届出が多かったが、2014年は10月～11月に5例の届出があった。2015年も10月に2例の届出があったことから、2010年～2015年45週に届出された27例をまとめた。

2010年～2015年45週の診断月別届出数を図2に示す。

性別では、男性14例(51.9%)、女性13例(48.1%)だった(表3)。

年齢群別では、60代～80代が23例で85.2%を占めていた(表3)。

届出のあった保健所について年別・保健所別に表4に示す。27例中19例(70.4%)が安房保健所であった。

症状等は、発熱27例(100%)、発疹25例(92.6%)、肝機能異常21例(77.8%)、刺し口19例(70.4%)、頭痛7例(25.9%)、DIC 4例(14.8%)だった(複数報告あり)。

診断方法は、間接蛍光抗体法又は間接免疫ペルオキシダーゼ法による血清抗体の検出24例(88.9%)、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出9例(33.3%)、分離・同定による病原体の検出1例(3.7%)だった(複数報告あり)。

感染地域として確定あるいは推定されたのは、全例千葉県だった。

図2 2010年～2015年45週千葉県の日本紅斑熱年別診断月別届出数 27例

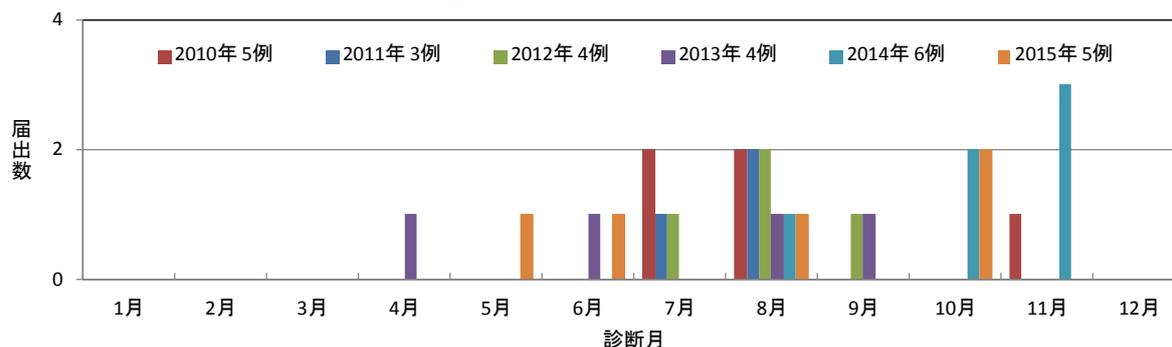


表3 2010年～2015年45週千葉県の日本紅斑熱年別・性別・年齢群別届出数

	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		合計	
	届出数	%	届出数	%										
性別														
男性	3	60.0	2	66.7	2	50.0	2	50.0	3	50.0	2	40.0	14	51.9
女性	2	40.0	1	33.3	2	50.0	2	50.0	3	50.0	3	60.0	13	48.1
年齢群														
50代	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	25.0	1	16.7	0	0.0	3	11.1
60代	2	40.0	0	0.0	3	75.0	0	0.0	3	50.0	0	0.0	8	29.6
70代	1	20.0	1	33.3	0	0.0	2	50.0	2	33.3	1	20.0	7	25.9
80代	2	40.0	1	33.3	1	25.0	1	25.0	0	0.0	3	60.0	8	29.6
90代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	1	3.7
合計	5	100.0	3	100.0	4	100.0	4	100.0	6	100.0	5	100.0	27	100.0

表4 2010年～2015年45週千葉県の日本紅斑熱年別・保健所別届出数

	安房	夷隅	君津	印旛	市原	合計
2010年	3	1	0	0	1	5
2011年	3	0	0	0	0	3
2012年	1	1	2	0	0	4
2013年	2	1	1	0	0	4
2014年	5	0	0	1	0	6
2015年	5	0	0	0	0	5
合計	19	3	3	1	1	27